様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

2026年　4月　14日

群馬県知事　あて

提出者　　〒351-0034
住　所　埼玉県朝霞市西原1-1-1

名　称　株式会社武蔵野

代表取締役　安田　信行

電話番号　0276-49-8080

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社武蔵野　群馬フローズンファクトリー
事業場の所在地	群馬県太田市吉沢町1380-1
計画期間	2026/4/1～2027/3/31

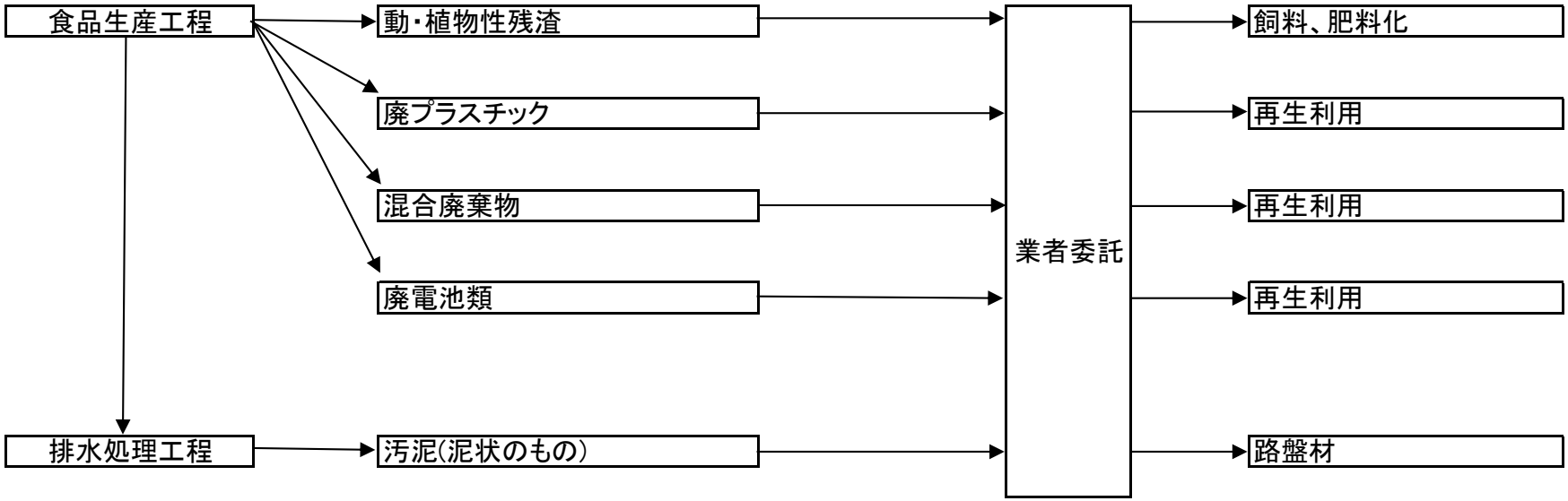
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	食品製造業
②事業の規模	43億円（2025年度実績）
③従業員数	458人（社員86名　パート372名）
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙１参照

（日本産業規格　Ａ列４番）

別紙1

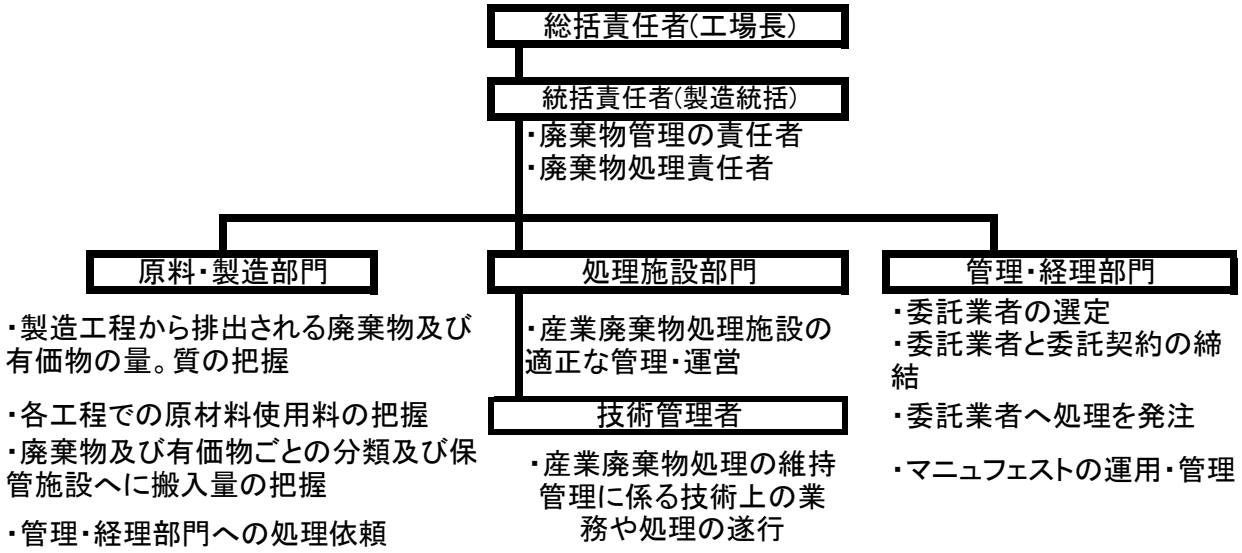
産業廃棄物の一連の処理工程



<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）別紙２参照</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（　2025年度　）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙3参照</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
・無駄の削減
・ゴミの部屋分け、コンテナ等での分別
・ゴミの再利用化
・食品管理でのビニール類の使用撤廃
・汚泥処理施設の改修、排出量の削減</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙3参照</td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
・動植物残渣の資源化</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・ゴミ置き場の種類ごとの区分け、コンテナ等使用
・ゴミ袋の色分け</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）
・可能な限りの分別</td></tr>
</table>

別紙2

管理組織図(群馬フローズンファクトリー)



<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（2025 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
自社での再生利用は行っていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後も再生利用の予定はなし。</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①現状</td><td colspan="3">【前年度（2025年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量</td><td>117.6 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
油分の混入を抑え脱水率をなるべく上げる。</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>汚泥</td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量</td><td>114.5 t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
同上の取組を行う。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">①現状</td><td colspan="3">【前年度（2025 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）
自社での埋め立て処理は行っていない。</td></tr>
<tr><td rowspan="4"></td><td rowspan="4">②計画</td><td colspan="3">【目標】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）
今後の埋め立て処理の予定はない。</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">①現状</td><td colspan="3">【前年度（2025 年度）実績】</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td>別紙3参照</td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者
への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者
への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外
の熱回収を行う業者
への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

	②計画	【目標】		
		産業廃棄物の種類	別紙3参照	
		全処理委託量	t	t
		優良認定処理業者への処理委託量	t	t
		再生利用業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者への処理委託量	t	t
		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
		（今後実施する予定の取組）		
※事務処理欄				

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

7　※欄は記入しないこと。

別紙3

①現状

前年度(2025年度)実績							
産業廃棄物の種類		動・植物性残渣	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	金属くず	汚泥		合計
排出量		1001.79 t	125.83 t	8.93 t	899.21 t		2035.76 t
	優良認定処理業者への処理委託量	751.26 t	17.9 t	8.93 t	115.31 t		893.4 t
	再生利用業者への処理委託量	1001.79 t	125.83 t	8.93 t	783.92 t		1920.47 t
	認定熱処理回収業者への処理委託量						
	認定熱処理回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						0.0 t
(これまでに実施した取り組み) ・ショーレックス使用無し、番重での食材管理 ・新基幹システムでの廃棄残渣の管理 ・グリストラップ引き抜き頻度削減の能力向上改修工事							

②計画

2026年度目標							
産業廃棄物の種類		動・植物性残渣	廃ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類	管理型混合廃棄物	汚泥		合計
排出量		991.77 t	124.57 t	8.84 t	890.22 t		2015.4 t
	優良認定処理業者への処理委託量	785.42 t	124.57 t	8.84 t	117.62 t		1036.45 t
	再生利用業者への処理委託量	991.77 t	124.57 t	8.84 t	890.22 t		2015.4 t
	認定熱処理回収業者への処理委託量						
	認定熱処理回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量						
(今後実施する予定の取組) 基幹システム活用し残渣排出状況の確認製造の見直し これまでの取り組みの継続							